

令和3年10月3日執行

北栄町長選挙 選挙公報

北栄町選挙管理委員会



てしま
手嶋としき

持続可能な まちづくり

産業の振興 (稼ぎ・賑わいを創出)

- 新規就農や起業、生産拡大、事業承継などを支援
- 「名探偵コナンに会えるまち」として、魅力ある観光地づくりにより賑わいを創出
- 道の駅の再整備により地域の活性化

子育て支援・生涯学習の 場が充実したまち

- 子育てを社会全体で応援する体制づくり
- 文化・芸術・マンガなどを活用し、生涯学習の場を充実

誰一人取り残さないまち

- 介護・医療が必要になっても、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう体制を整備
- ひきこもり、障がい、貧困など複雑化・複合化する支援ニーズに対し、重層的に支援する体制を整備

安心・安全なまち

- 防災力を強化し、災害等に備える仕組みづくりを整備
- 地域交通を守る
- 再生可能エネルギーを活用し、エネルギーの地産地消により、地域内経済循環に取り組む

町民が主役のまち

- 町民が積極的にまちづくりに参加する仕組みづくり

健全な財政運営を行うまち

- 行財政改革や自主財源の確保



おしよ
秀男

SDGsが変える未来

SDGsの未来に向かって私は、町民と一体になって出来ることから一歩ずつ前進していきます。安心・安全なまちづくりに、私は、町民と必要な知識を共有しアクションを起こす取り組みを致します。まずは環境問題です。

- ・北栄町のあちこちで不法投棄が放置された常態を見逃さない。
- ・消費ロス（学校給食・家庭の冷蔵庫・職場でのロス）をゼロにする。

次に、若者（高校生・農業後継者・自営経営者）の隠れた能力が実現可能な町づくりに役に立つ環境づくりに取り組みます。耕作放棄地については二十年以上話題に上っていませんが、一向に前進しません。そこで私は、若者（農業後継者等）を対象にタウンミーティングを開き、また鳥取大学と協同で耕作放棄地を無くすための土台作りに取り組みます。

遠隔装置で新しい命を守る

コロナ禍の中、病院に通院することもできず、病院の近くのホテルで出産するケースが多くなって、妊婦さんにとってテレワーク診療は重要な役割になっています。北栄町の状況をよく把握し、私は、県と話し合いテレワーク診療を導入し、安心・安全な環境づくりに取り組みます。

最後に教育です。コロナ禍で子ども達は、外で遊ぶ事が減り体力面が低下し、健康面でストレスを感じるようになっていました。一方大人達はテレワークが進み、上司・同僚とのコミュニケーション不足のため、不安・孤独感・ストレスを家庭内に持ち込み、家族の笑顔が消えかけています。そこで私は、家庭・学校以外でも子ども達が安心・安全で楽しく過ごせる環境づくりに取り組みます。

投票日 10月3日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

みんなそろって投票しましょう!

期日前投票は、10月2日(土)まで

(この選挙公報は、候補者から提出された原文を写真にとって、そのまま掲載したものです。)